

算数担当が、算数を教えつつ、いろいろなことを考えてみました。
 $\pi=3.141592653\ldots$

No24：復習を「クイズ」にしてみた。

令和8年1月30日
墨田区立柳島小学校
校長 近藤 幸弘
柳島小学校算数担当

●学習内容の復習を、クイズ形式にしてみました。

前号でも申し上げた通り、この時期の6年生算数は復習内容です。比較的算数が得意であるという児童のコースということもあり、学習活動が停滞気味でした。そこで、学習支援アプリ「ロイロノート」のテスト機能を使って、学習内容をクイズ化（全て選択式）してみました。出題内容は、教科書で取り扱った設問とそれに準じた設問です。簡単そうに見える問題であっても、解答の時間制限もあり、やりがいはあったようです。

1 「1500mのマラソンコースを x m走ったら残りは700m」この文章の通りに x を用いた式に表す。

(正答) $1500 - X = 700$ (誤答) $1500 - x = y$

なぜか y が登場してしまうという誤答が多かったです。問題文をよく読み、問われていることを把握することが大切です。

2 比例の定義「 $y \cdots x \cdots$ 比例する」

(正答) 「 y は x に比例する」 (誤答) 「 y と x は比例する」

授業で再三にわたって強調してきたところです。用語の正確な理解が必要です。

3 「単位量あたりの大きさ」にあたる数値は？①道のり②時間③速さ④距離

(正答) ③速さ

速さは「単位時間当たり（時速なら1時間当たり、秒速なら1秒間あたり）に進む距離」ですから、速さは「単位量当たりの大きさ」です。

4 300円の25%は？

(正答) 300×0.25 、 $300 \times 1/4$ 、 $300 \div 4$ (誤答) $300 \div 4$ を選ばない
 $\times 1/4$ は、 $\div 4$ と同じです。

1～4は何度も指導してきたことですが、残念なことに誤答が多かったです。決して「細かすぎる知識」であるとは思いません。特に2、3は、「算数・数学特有の言い回し」であり、算数・数学の正確な理解に必要であると思っています。

本紙をご覧になっている方にも出題します。お時間あるときにどうぞ。

1 割合が1を超える可能性のある事例は？(1つを選択)

①〇〇大学の受験倍率 ②〇〇大統領の支持率 ③チョコレートのカカオの割合

意外と答えにくいかもしれません。「割合の1=100%」です。100%を超えないものは？

2 「点対称（　）形」（　）に入る平仮名は？(1つを選択)

①な ②に ③ぬ ④ね ⑤の

「その言い回しに意味がある」と解釈して、指導しています。